

リスクの理解促進に資するウェブ用素材  
「リスク情報なび」  
(データ集・記録集)

2003年6月

核燃料サイクル開発機構  
東海事業所

本資料の全部または一部を複写・複製・転載する場合は、下記にお問い合わせください。

〒319-1184 茨城県那珂郡東海村村松 4 番地 49  
核燃料サイクル開発機構  
技術展開部 技術協力課

電話:029-282-1122(代表)  
ファックス:029-282-7980  
電子メール:jserv@jnc.go.jp

Inquiries about copyright and reproduction should be addressed to:  
Technical Cooperation Section,  
Technology Management Division,  
Japan Nuclear Cycle Development Institute  
4-49 Muramatsu, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki 319-1184,  
Japan

© 核燃料サイクル開発機構 (Japan Nuclear Cycle Development Institute)  
2003

## リスクの理解促進に資するウェブ用素材「リスク情報なび」

(データ集・記録集)

三ツ井誠一郎

### 要 旨

東海事業所は、従来から実施している理解活動に加えて、地域における「リスクコミュニケーション」を積極的に進めるため、平成13年1月にリスクコミュニケーション研究班を設置し、既存の意識調査結果の分析、国内外におけるリスクコミュニケーション事例の調査、リスクコミュニケーション手法、ツールの開発に取り組んでいる。

リスクの理解促進に資するウェブ用素材「リスク情報なび」は、東海村に建設した「テクノ交流館リコッティ」のホームページのコンテンツとして、インターネットを介し、市民へのリスク情報の発信、市民とのリスクコミュニケーションを行うために開発した、リスクコミュニケーションツールの一つである。「リスク情報なび」を開発するにあたり、下記のコンセプトを実現するべくコンテンツの企画を検討した。

- (1)身の回りから地球規模のリスクに関心を持って頂くためのサイト
- (2)リスクについての知識または情報を得るサイト
- (3)テクノ交流館における活動を支援するサイト

## Risk Jyouhou Navi (risk information navigator)

- Web tool for fostering of risk literacy -

(Set of data)

Seiichiro MITSUI

### Abstract

In addition to the conventional public understanding activities, Risk communication study team of Japan Nuclear Cycle Development Institutes (JNC) Tokai Works has started practical studies to promote risk communication with its local communities. Since its establishment in 2001, Risk communication study team has conducted analyses of already available results of public attitude surveys, case studies of domestic and overseas risk communication activities, and development of risk communication tools.

A web tool for fostering of risk literacy “Risk Jyouhou Navi (risk information navigator in English),” was developed as a web content for the official home page of “Techno Kouryuu Kan Ricotti (Techno Community Square Ricotti in English)”. The objectives of this content are to provide risk information for public and to provide an electronic platform for promoting risk communication with the local community. To develop “Risk Jyouhou Navi,” the following concepts were considered.

- 1) To create public interest in risks in daily lives and in global risks.
- 2) To provide risk knowledge and information.
- 3) To support risk communication activities in Techno community square ricotti.

目 次

1. はじめに .....	1
2. 「リスク情報ナビ」のコンセプト .....	1
3. 「リスク情報ナビ」のコンテンツ .....	2
3.1 トップページ .....	2
3.2 「こんなとき、あなたならどうする？」 .....	3
3.3 「リスク箱」 .....	4
3.4 「リスクの神様」 .....	5
3.5 リンク集 .....	6
3.6 「リスク情報ナビについて」 .....	6
4. コンテンツの閲覧 .....	7
4.1 閲覧の条件 .....	7
4.2 CD-R に収録したコンテンツの閲覧方法 .....	7
5. おわりに .....	7

CD-R

目 次

図 1	「リスク情報なび」トップページ.....	2
図 2	利須久(りすく)家キャラクター.....	3
図 3	「こんなとき、あなたならどうする？」イメージ.....	4
図 4	「リスク箱」イメージ.....	5
図 5	「リスクの神様」イメージ.....	5
図 6	リンク集イメージ.....	6
図 7	「リスク情報なびについて」イメージ.....	6

## 1. はじめに

平成9年アスファルト固化処理施設における火災・爆発事故、平成11年JCO臨界事故などを契機とし、原子力関連施設に対する不安感が増加するなど、地域住民の意識に変化が認められている。こうした中、核燃料サイクルの技術開発を円滑に進めるためには、東海事業所の施設が有するリスクについて地域社会と情報や意見を交換し、相互理解を図るための活動、「リスクコミュニケーション」の取り組みが不可欠である。

東海事業所は、従来から実施している理解活動に加えて、この「リスクコミュニケーション」を積極的に進めるため、平成13年1月にリスクコミュニケーション研究班を設置し、既存の意識調査結果の分析、国内外におけるリスクコミュニケーション事例の調査、リスクコミュニケーション手法、ツールの開発に取り組んでいる。

リスクの理解促進に資するウェブ用素材「リスク情報なび」は、東海村に建設した「テクノ交流館リコッティ」のホームページのコンテンツとして、インターネットを介し、市民へのリスク情報の発信、市民とのリスクコミュニケーションを行うために開発した、リスクコミュニケーションツールの一つである。

本報では、「リスク情報なび」をCD-Rに収めるとともに、その使用方法をまとめた。

## 2. 「リスク情報なび」のコンセプト

交通事故や自然災害、化学物質による健康影響など、日常において我々は様々なリスクに晒されているが、リスクを意識することは少なく、自分自身はリスクには晒されていないような感覚で生活を送っている。また、「リスク」という用語は、「金融リスク」など最近になって新聞等で目にすることが多くなったがまだまだ一般にはなじみがなく、原子力を始めとする科学技術などにリスクが存在することが問題であるかのような誤解が生じている。

そこで、リスクへの関心、理解を深め、リスクに対するバランスの取れた感覚を身に付けるきっかけとなることを目指し、下記のコンセプトで「リスク情報なび」を開発することとした。

### (1)身の回りから地球規模のリスクに関心を持って頂くためのサイト

生活の中の身近なリスクを再認識して頂き、「リスク」の観点から世界を眺めるきっかけづくり。

### (2)リスクについての知識または情報を得るサイト

世の中で話題になっているものを含む、リスクに関するより詳細な情報へのポータル（他のサイトへのリンク含む）としての機能。

薬と副作用や、喫煙と肺がんなど、リスクのトレードオフ等に関連した情報も提供し、リスクに対する感受性や判断力の醸成に寄与。

(3)テクノ交流館における活動を支援するサイト

アンケートなどによる、各種リスクに対する意識、体験の集約と共有  
テクノ交流館におけるボランティアグループ等の活動によって得られた、地域におけるリスク関連情報等の発信。

リスクをテーマとした、テクノ交流館の企画と関連する話題の提供。  
市民とサイクル機構がリスクについて交流できる仕組みづくり。

### 3. 「リスク情報なび」のコンテンツ

2節に示したコンセプトを実現すべく、次のようなコンテンツを企画、制作した。なお、2節(3)のコンセプトに関連するコンテンツについては、テクノ交流館の活動との関連付けが必要なことから、次期フェーズで企画、制作することとした。

#### 3.1 トップページ

トップページには、「What's New」、「リスク暦」を配置している。「What's New」は新規コンテンツの追加などの更新情報やその他ニュースの掲載に使用する。「リスク暦」は、リスクに関連する過去のニュースを日替わりで表示するコンテンツである。なお、「リスク暦」作成するにあたり、「今日は何の日～毎日が記念日」(<http://www.nannohi.jp/>)および「歴史データベース」(<http://macao.softvision.co.jp/dbpwww/>)を参照した。



図 1 「リスク情報なび」トップページ



### 3.2 「こんなとき、あなたならどうする？」

利須久（りすく）家という、子供から高齢者、及びペットをキャラクターとする仮想の家族（図 2）を登場させ、日常生活のリスクに関する出来事をアニメーションで擬似的に体験することで、「リスク」に対する関心をもって頂くこと、即ち 2 節(1) のコンセプトの実現を目指している。

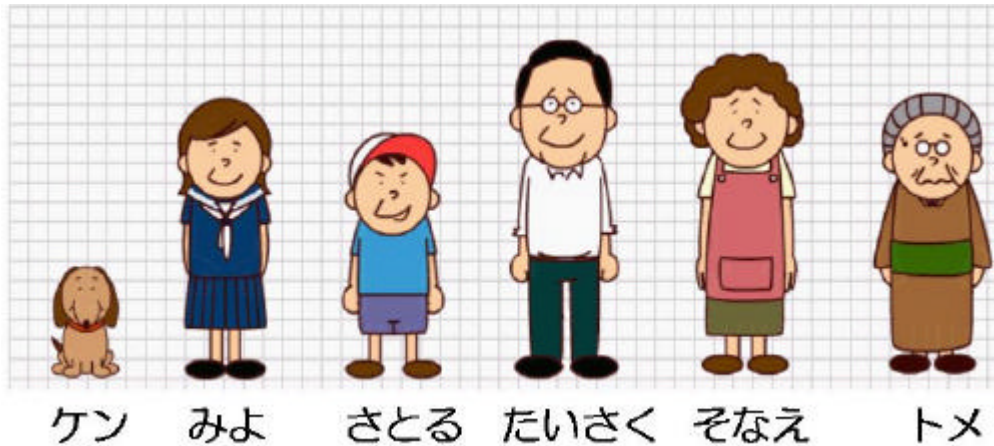


図 2 利須久（りすく）家キャラクター

本コンテンツでは、誰がリスクに晒されているか、誰がリスクを管理するかという点で特徴が異なるものをテーマとして選定した。また、誤飲・誤食など、特定の世代に特徴的なリスクについてもテーマとなるよう配慮した。

家族全員がリスクに晒されており、家族以外が当該リスクの管理に関わるもの

- ・原子力施設と放射線

家族全員がリスクに晒されており、家族以外及び家族の一部が当該リスクの管理に関わるもの

- ・食品添加物

家族全員がリスクに晒されており、家族以外及び家族全員が当該リスクの管理に関わるもの

- ・地球温暖化

家族全員がリスクに晒されており、家族の一部が当該リスクの管理に関わるもの

- ・地震

- ・シックハウス

- ・ガス漏れ

- ・空き巣

- ・自動車事故

家族全員がリスクに晒されており、本人が当該リスクの管理に関わるもの

- ・ペット感染症

家族の一部がリスクに晒されており、本人以外の家族の一部が当該リスクの管理に関わるもの

- ・誤飲・誤食

家族の一部がリスクに晒されており、本人及び本人以外が当該リスクの管理に関わるもの

- ・高齢者の在宅事故

家族の一部がリスクに晒されており、本人が当該リスクの管理に関わるもの

- ・飲酒
- ・ダイエット



図 3 「こんなとき、あなたならどうする？」イメージ

### 3.3 「リスク箱」

「こんなときあなたならどうする」で取り扱ったリスクに関するテーマについて、その原因や対策に関する解説を掲載し、「リスク」に対する理解を深めて頂くこと、即ち2節(2)のコンセプトの実現を目指している。リスク箱の構成は以下の通りであり、必要に応じて関連するサイトを詳細している。なお、原則この構成で解説記事を作成しているが、テーマによっては若干異なっている場合がある。リスク箱の作成にあたって参照したサイトおよび資料については記事内に記載した。

#### ケース解説

リスクの関連するテーマの導入部。「こんなとき、あなたならどうする?」と「リスク箱」の解説記事の関連付けを行う。

#### トピックス1

テーマとするリスクについて、その内容や要因について解説する。また、地域や年齢等でリスクの大きさが異なる場合は、その違いについて紹介する。

#### トピックス2

テーマとするリスクについて、その管理方法等(回避方法や低減方法)を解説する。

### ピックアップ1

テーマとするリスクについて、リスクが現実になった場合の対処方法（例えば、子供が異物を飲み込んでしまった際の応急措置）を解説する。

### ピックアップ2

テーマとするリスクに関連するその他のリスク等を紹介する。

### コラム

テーマとするリスクに関連する豆知識的な情報を掲載。

### リンク

解説記事中で紹介したサイトやその他関連するサイトへのリンクを掲載。

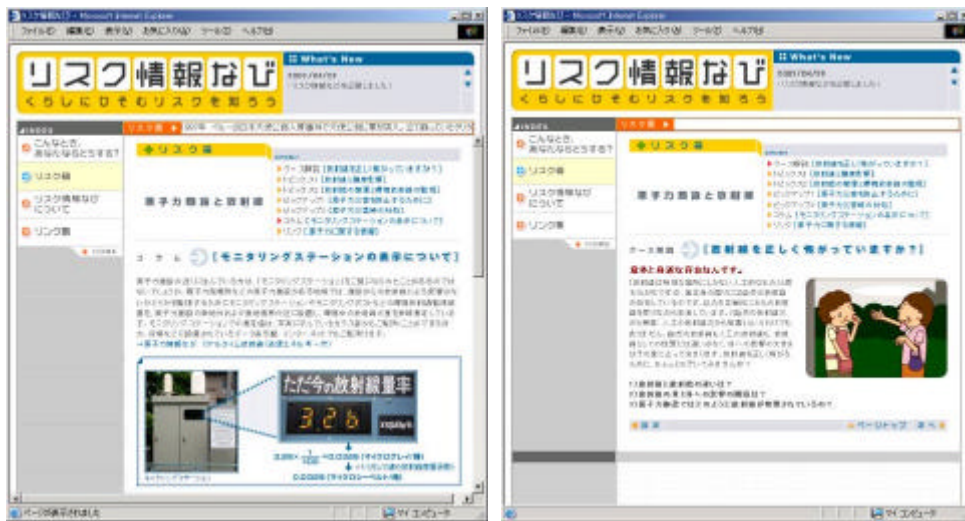


図4 「リスク箱」イメージ

## 3.4 「リスクの神様」

「こんなときあなたならどうする」で取り扱ったリスクに関するテーマについて、日替わりで標語を表示させるコンテンツ。現在新規に作成した31件の標語が登録されている。



図5 「リスクの神様」イメージ

### 3.5 リンク集

「リスク箱」のリンク集で紹介したリンクを一括して掲載している。カテゴリー別の表示にするなどの改良については次期フェーズで対応する予定である。



図 6 「リンク集」イメージ

### 3.6 「リスク情報ナビについて」

「リスク情報ナビ」の目的、サイトの構成について記載している。



図 7 「リスク情報ナビについて」イメージ

## 4. コンテンツの閲覧

### 4.1 閲覧の条件

コンテンツを閲覧するための条件を以下に示す。

(1)対象 OS

Windows 及び MacOS

(2)対象ブラウザ

Internet Explorer 4.0 以降および Netscape 4.0 以降

(3)Flash バージョン

Flash Player5.0 以降

### 4.2 CD-R に収録したコンテンツの閲覧方法

CD-R に収録されている risknavi フォルダ内の“ index.html ”ファイルをクリックすると、ブラウザが自動的に起動し、トップページが表示される。リスク箱およびリンク集で紹介している外部サイトを閲覧する場合はインターネットへ接続する必要がある。

## 5. おわりに

今回、リスクコミュニケーションツールの一つとして「リスク情報なび」を開発し、下記のコンセプトの(1)および(2)についてのコンテンツを作成した。今後、コンセプト(3)を実現するためのコンテンツの企画、制作が必要である。

(1)身の回りから地球規模のリスクに関心を持って頂くためのサイト

(2)リスクについての知識または情報を得るサイト

(3)テクノ交流館における活動を支援するサイト

### 謝 辞

「リスク情報なび」の開発にあたっては、トランスフォーム株式会社及び株式会社アトムに協力を得た。ここに謝意を表す。